

# オプション検査のご案内

①

令和6年度版

オプション検査は、事前にお申込みください。  
\*当日、オプション検査を追加することはできません。

## ●女性の方へおすすめします

子宮がん検診（子宮頸部細胞診） ●対象 20歳以上の女性 料金 4,800円

子宮がん検診（HPV検査〔ヒト・パピローウイルス検査〕） 料金 5,800円

●対象 20歳以上の女性

子宮頸がんの原因となるヒト・パピローウイルスに感染しているかどうかを調べる検査です。この検査により、現在がんや異形成になっている可能性があるかどうか、将来子宮頸がんになる可能性があるかどうか調べることができます。

\*この検査は子宮頸部細胞診と同時実施になります。（単独で受けることはできません）

乳がんマソグラーフィー検診（マソグラーフィー2方向） 料金 7,000円

●対象 おおむね40歳以上の女性  
（2年に1度の受診が推奨されています）

\*人数に制限があります。

## ●各種検査機器を用いた検査です

骨塩定量検査 ●対象 男女問わず希望者 料金 4,200円

骨塩（カルシウムとリン酸）の量を調べ、骨粗鬆症の診断を行います。



腹部超音波検査

～日帰り人間ドックの

令和6年度は実施致しません

（オプション検査として）

# オプション検査のご案内 ② 令和6年度版

オプション検査は、事前にお申込みください。  
\*当日、オプション検査を追加することはできません。

## ●各種検査機器を用いた検査です

**精密眼底検査（両眼）** ●対象 男女問わず希望者 料金 800円

～日帰り人間ドックの方はセットに含まれています～

網膜の毛細血管の状態から動脈硬化や高血圧、糖尿病などの合併症の進み具合がわかります。  
眼底カメラ撮影により実施します。

**動脈硬化検査（CAVI/ABI検査）** ●対象 男女問わず希望者 料金 1,700円

脳梗塞や心筋梗塞などを引き起こす原因となる動脈硬化や、それによる血管の狭窄の有無について調べる検査です。

\*人数に制限があります。

**肺機能検査（肺年齢測定）** ●対象 男女問わず希望者 料金 2,100円

令和6年度は実施致しません

（オプション検査として）

\*人数に制限があります。

## ●マルチスライスCTを用いた検査です

**胸部CT検査** ●対象 男女問わず希望者 料金 12,000円

～最新型マルチスライスCTによる診断を行います～

日本の肺がんは増加傾向にあり、死亡原因のトップです。一般ドックでの胸部レントゲン写真では診断できない早期肺がんを、肺マルチスライスCT（肺の高精細断層撮影）を用いて診断します。喫煙者、咳・痰の多い方は特におすすめします。



\*人数に制限があります。

# オプション検査のご案内

③

令和6年度版

オプション検査は、事前にお申込みください。  
\*当日、オプション検査を追加することはできません。

## ●一回の採血で同時実施できる検査です

### 肝炎ウイルス検査 (HBs 抗原・HCV 抗体)

料金 2,100 円

●対象 男女問わず希望者

B 型肝炎、C 型肝炎ウイルスに感染しているかを調べる検査です。

### 甲状腺ホルモン検査

●対象 男女問わず希望者

料金 4,200 円

甲状腺ホルモンの値を調べて、甲状腺の病気の診断に役立てます。この甲状腺ホルモンが過剰になる甲状腺亢進症は、体重が減少し、動悸息切れ、脈が早くなるなどの症状がみられます。甲状腺ホルモンが不足する甲状腺機能低下症は、無力感、身体のむくみ、皮膚の乾燥などがあらわれます。軽症のうちは症状がはっきり現れませんので、血液検査での甲状腺ホルモンの測定が有効となります。

### ヘリコバクターピロリ抗体検査

●対象 男女問わず希望者

料金 1,000 円

血液検査により、胃内のヘリコバクターピロリの存在を知ることができます。ピロリ菌が原因とされる消化性潰瘍のほとんどは、この除菌によって治癒し、再発率も著しく低下しますので、これまで潰瘍の治癒・再発を繰り返されていた方に特におすすめします。

なお、ヘリコバクターピロリ抗体検査が陽性であっても胃にまったく症状がない方や、また、すでに除菌治癒された方でも、除菌後数年間陽性になることがありますので、申込時にご相談ください。

※胃がんリスク検査 (ABC分類) を希望する方は内容に含まれております。



### ペプシノゲン検査 (LA)

●対象 男女問わず希望者

料金 1,000 円

血液検査により、胃粘膜の老化 (萎縮) の状態を知ることができます。胃粘膜萎縮 (老化) マーカーとも言われ胃がん検診にも応用されています。

※胃がんリスク検査 (ABC分類) を希望する方は内容に含まれております。

# オプション検査のご案内

④

令和6年度版

オプション検査は、事前にお申込みください。

\*当日、オプション検査を追加することはできません。

## ●一回の採血で同時実施できる検査です

### 胃がんリスク検査（ABC分類）

●対象 男女問わず希望者

料金 3,500円

2つの血液検査の結果から胃がんのリスクをA, B, C, Dの4群に分類します。

ABC検診は、ヘリコバクターピロリIgG抗体検査でピロリ菌感染の有無を、ペプシノゲン検査で胃粘膜萎縮度を調べ、その二つの結果を組み合わせることで胃の健康度を評価します。

#### ●ヘリコバクターピロリIgG抗体検査

胃にピロリ菌が感染していないか調べる検査です。

ピロリ菌は胃粘膜にダメージを与え、さまざまな病気のひきがねになると考えられています。

#### ●ペプシノゲン検査（LA）

胃粘膜の老化（萎縮）の状態を調べる検査で、胃がん検診にも応用されます。

萎縮が進んだ胃は、胃がんになりやすいといわれています。

※ピロリ菌の除菌治療を受けた方は、ABC分類の判定対象にはなりません。定期的な内視鏡検査をお勧めします。

お申込みの際、「ピロリ菌除菌治療後」と申し出てください、結果は、E群（除菌群）として各検査の数値結果のみのご報告となります。

※下記の方はABC分類に適しません。かかりつけ医療機関等にご確認・ご相談ください。

- ・胃の病気の治療中の方
- ・腎不全の方
- ・胃切除後の方
- ・ピロリ菌の除菌治療を受けた方
- ・胃酸を抑える薬を服用中の方

オプション検査は、事前にお申込みください。  
\*当日、オプション検査を追加することはできません。

## ●一回の採血で同時実施できる検査です

### 採血による腫瘍マーカー検査

腫瘍マーカーとは、がん細胞の目印（マーカー）となる物質の総称です。がん等の悪性腫瘍のときに血液中に増加します。各種 X 線検査、超音波検査等、他の検査と組み合わせておこなうことで補助的役割としての効力を発揮します。関連の検査も併せて受診することをおすすめします。  
非常にたくさんの種類がありますが、臨床現場でよく使用される項目の検査をします。

**男性 4項目** ●対象 男性の希望者 **料金 4,600 円**  
(CEA・CA19-9・SCC・PSA)  
発症率の高い胃がんなどの消化器系のがんや男性特有の前立腺がんについての検査を行います。

**前立腺腫瘍マーカー** ●対象 おおむね 50 歳以上の男性 **料金 1,500 円**  
(PSA)  
初期には自覚症状がない前立腺がんを早期に発見するための腫瘍マーカーです。  
～男性4項目お申込みの方はセットに含まれています～

**G セット 4項目** ●対象 女性の希望者 **料金 4,600 円**  
(CEA・CA19-9・SCC・CA-125)  
発症率の高い胃がんなどの消化器系のがんや卵巣・子宮頸部のがんについての検査を行います。

**M セット 3項目** ●対象 女性の希望者 **料金 3,200 円**  
(CEA・CA15-3・NCC-ST-439)  
発症率の高い胃がんなどの消化器系のがんや乳がんについての検査を行います。

**G+M セット 6項目** ●対象 女性の希望者 **料金 6,700 円**  
(CEA・CA19-9・SCC・CA-125・CA15-3・NCC-ST-439)  
女性の腫瘍マーカー検査（消化器系、卵巣・子宮頸部がん、乳がん）を一回で受けることができます。

オプション検査は、事前にお申込みください。  
\*当日、オプション検査を追加することはできません。

## ●一回の採血で同時実施できる検査です

### アミノインデックスがんリスクスクリーニング検査（AICS）

血液中に含まれる20種類のアミノ酸濃度は、健康な人であれば、それぞれ、一定に保たれるようにコントロールされていますが、さまざまな病気になるとアミノ酸濃度のバランスが変化することが分かっています。このアミノ酸濃度のバランスの違いを統計的に解析することで、がんに罹患している確率を予測するのが「AICS」です。

検査結果は、それぞれのがんについて0、0～10、0の数値で報告され、この数値からランクA・ランクB・ランクCの3段階で示されます。ランクが上がるほど、がんに罹患している確率が高いこととなります。この数値に基づき、より精密な検査を受け、早期発見・早期治療に結び付けることができることとなります。

この検査は、がんに罹患している確率を調べ、数値化したものであり、がんであるかどうかをはっきり判断するものではありません。

「AICS」は、もともと体の中にあるアミノ酸が、がんによりそのバランスが崩れることを利用した検査です。最近の研究では、がんがとても小さい段階であっても体の中のアミノ酸バランスが崩れることが分かっています。そのため、この検査を受けることでがんを早期に発見できる可能性があります。

一方、「腫瘍マーカー検査」は、体の中にできてしまったがんが作り出す特殊な物質を測る検査です。この物質は、もともと体の中にほとんどないものですが、がんができてしまうと大量に作られるものです。しかし、がんがある程度大きくなしないと、検査をしても数値に表れなかったり、がんが十分大きくてもあまり作られなかったりすることがあります。

**男性 AICS（5種）** ●対象 男性の希望者（25歳以上）

**料金 23,100円**

（胃がん、肺がん、大腸がん、膵臓がん、前立腺がん）

前立腺がんは40歳以上の方が対象となりますので、そのがんの結果数値はあくまでも参考値になります

**女性 AICS（6種）** ●対象 女性の希望者（20歳以上）

**料金 23,100円**

（胃がん、肺がん、大腸がん、乳がん、膵臓がん、子宮頸がん、子宮体がん、卵巣がん）

胃がん、肺がん、大腸がん、乳がん、膵臓がんは25歳以上の方が対象となりますので、そのがんの結果数値はあくまでも参考値になります